

令和6年度 学校評価資料



【添付資料】

- | | |
|----------------------|--------|
| (1) 令和6年度学校評価（職員） | ・・・P1 |
| (2) 令和6年度学校評価（事務職員） | ・・・P12 |
| (3) 令和6年度学校評価（保護者） | ・・・P14 |
| (4) 令和6年度学校評価（学校評議員） | ・・・P17 |

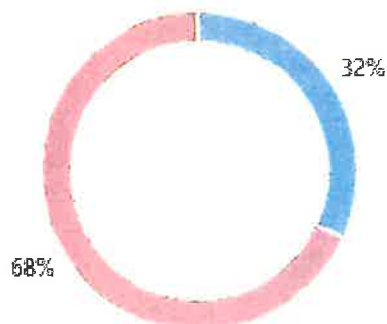
沖縄県立那覇特別支援学校

Tel : 098-834-0948 Fax : 098-834-6430

Forms によるアンケート調査 小学部5名 中学部9名 高等部9名 その他2名 計25名

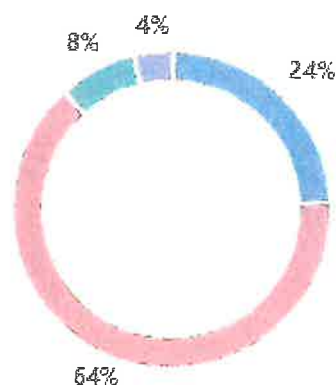
1 【教育目標】 教育目標：学校教育目標の具現化へ向け、諸計画等を連動させ取り組んでいる。

● 良い。	8
● やや良い。	17
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



2 【教育課程】 教育課程は、カリキュラムマネジメントの視点を押さえながら、児童生徒の実態等に即し、適切に編成されている。

● 良い。	6
● やや良い。	16
● やや不十分。	2
● 不十分。	1



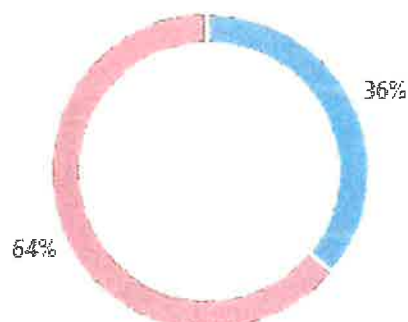
・次年度に向け「合わせた指導」がなくなり教科ごとの時間割り(授業)編成となることを受け、日々の身体的なケアに十分な時間が必要とされる児童生徒の実態には即していない教育課程になるのではないかと考えています。

・例年通りの事が多いので、もう少し児童生徒の実態や、その時々状況に合わせた活動に変化を持たせてもいいかなと思う。

・課題を踏まえた具体的な取組を進める必要がある。

3 【個別の教育支援計画】 児童生徒の実態と教育的ニーズを把握し、保護者や関係機関等と十分に連携して計画されている。

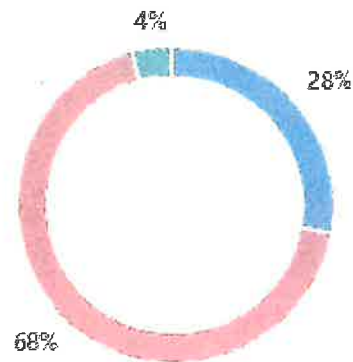
● 良い。	9
● やや良い。	16
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



4

【家庭との連携】 児童生徒の支援や指導について、保護者に十分な説明がなされ、良好な信頼関係を築くことができる。

● 良い。	7
● やや良い。	17
● やや不十分。	1
● 不十分。	0

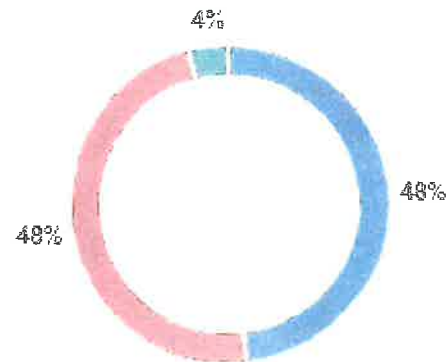


・(個人のつぶやき)電話連絡ができるようになったのはよかった。

5

【関係機関との連携】 児童生徒の適切な支援や指導について常に追究し、関係機関と緊密な連携と協働が図られている。

● 良い。	12
● やや良い。	12
● やや不十分。	1
● 不十分。	0

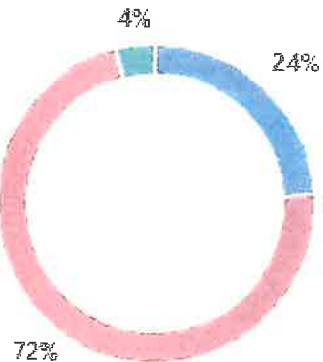


・児童生徒の車椅子でのポジショニング等について、筋緊張が強くうまく座れなくて、しんどそうにしている生徒がいる。研修で OT の大城さんから助言をいただいたが、センターの方針等もあるので、どう連携していくか難しさを感じています。

6

【年間指導計画】 児童生徒の実態等に即し、教科等の関連や系統性を踏まえながら、効果的な単元や題材が適切に計画されている。

● 良い。	6
● やや良い。	18
● やや不十分。	1
● 不十分。	0

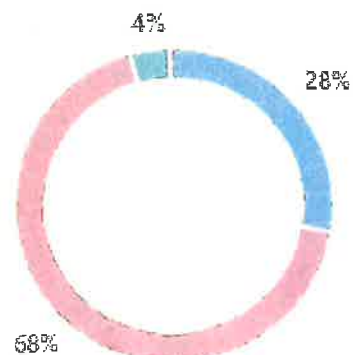


・教育課程上教科設定が不十分なため、教科等の関連や系統性、効果的な単元等が計画されているか評価できないから。

7

【個別の指導計画】 児童生徒の実態等に応じて、各教科の年間指導目標を踏まえ、学習目標や具体的な学習活動と手立てが適切に計画されている。

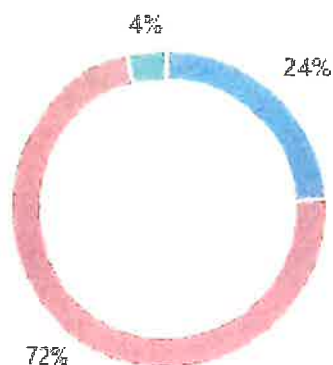
● 良い。	7
● やや良い。	17
● やや不十分。	1
● 不十分。	0



・現在の各教科3つの柱での目標設定では、児童生徒の実態からは設定が難しい。

- 8 【学習評価】 個別の指導計画に沿った目標準拠評価が行われ、関係者間（ヨコとタテの繋がり）で学習の成果と課題を共有し、引き継ぐ事ができている。

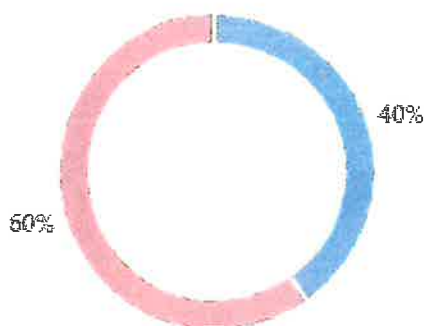
● 良い。	6
● やや良い。	18
● やや不十分。	1
● 不十分。	0



・表出が難しい児童生徒にも「三つの柱」で目標を立てて、「三観点」で評価することの意義を感じられない。無理してこじつけで目標を立てて、ごまかしつつ評価をしてしまっている。各教科の内容についてインプットは十分にしたいが、アウトプットを求める目標と評価がついてくることに違和感を感じている。

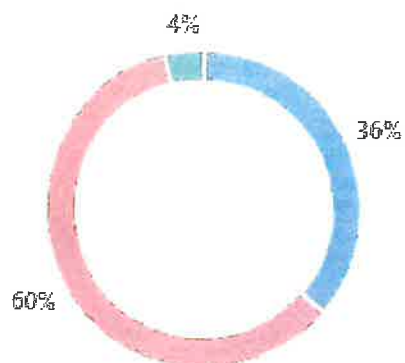
- 9 【授業づくり】 学部、学年や学習グループ等で連携して授業の振り返りや教材研究に取り組み、課題を共有しながら、共同で効果的な授業づくりが行われている。

● 良い。	10
● やや良い。	15
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



- 10 【学習指導(指導力)】 児童生徒の実態や興味・関心に応じた手立て（教材・教具等）を工夫し、常に効果的な授業展開（実践）に努め、発生する課題に応じて授業改善が行われている。

● 良い。	9
● やや良い。	15
● やや不十分。	1
● 不十分。	0

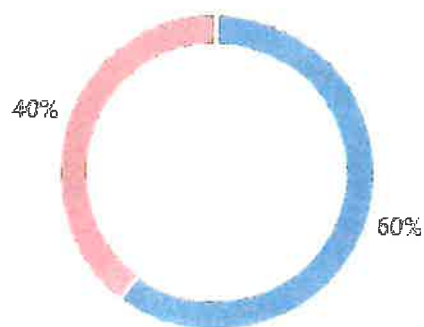


・先生方一人一人が、とても良い物を持っているので、個々に行うのではなく、もう少し共有しあって指導につながるともっといいのかなと思う。

11

【交流及び共同学習】 障がい者理解の促進に向けて、学校間交流や居住地校交流に積極的に取り組まれている。

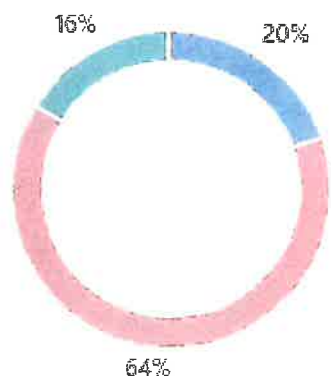
● 良い。	15
● やや良い。	10
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



12

【キャリア教育】 障がい者を取り巻く地域社会の課題を踏まえ、児童生徒の自立（就労）と社会参加を見据えて、系統的なキャリア教育や適切な体験活動に取り組まれている。

● 良い。	5
● やや良い。	16
● やや不十分。	4
● 不十分。	0



・施設入所している本校児童生徒にとってのキャリア教育とは？考える必要がある。

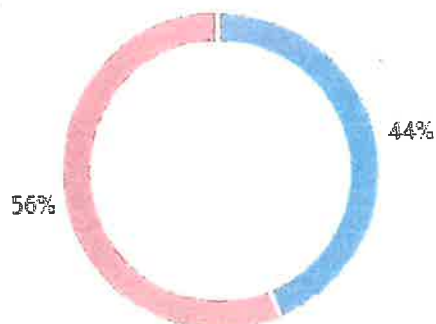
・進路部からの保護者へ、卒業後に向けての進路についてもう少し具体的に行っていった方がいいかなと思います。支援事業所（就労移行、A型、B型、生活介護等）の説明など。

・各学部では取り組んでいると思うが、学部を横断した取り組みは不十分かと思う。児童生徒の実態を踏まえた系統的なキャリア教育について、方向性を出すようにしてほしい。

13

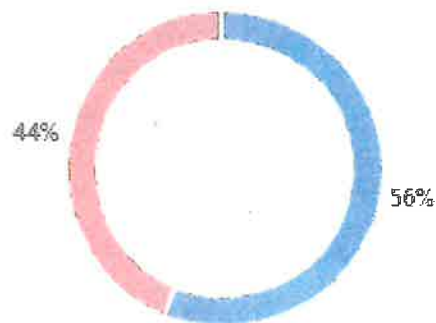
【生徒指導】 いじめの早期発見や指導時の言葉遣いなど、対処方針及び迅速な対応への体制が図られている。

● 良い。	11
● やや良い。	14
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



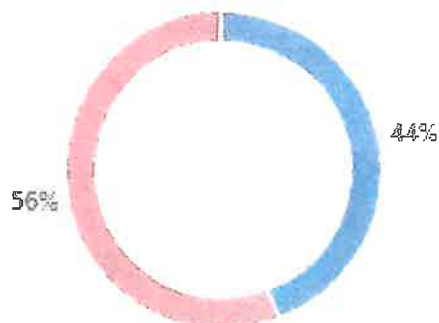
14 【生徒指導】 一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができる。

● 良い。	14
● やや良い。	11
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



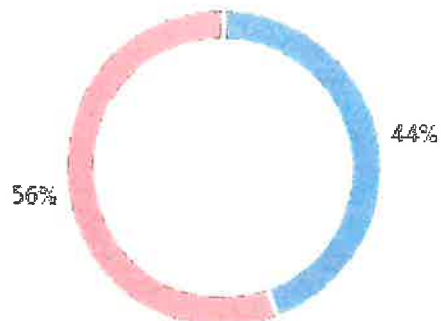
15 【就学支援及び教育相談】 地域のセンター校的役割を担い、就学指導（支援）や教育相談の充実に努めている。

● 良い。	11
● やや良い。	14
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



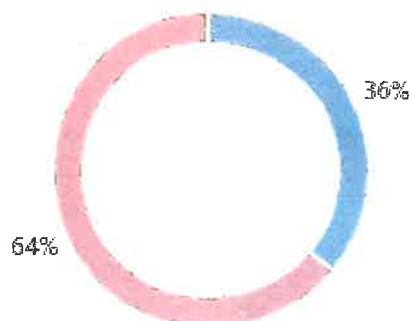
16 【校内研修】 より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。

● 良い。	11
● やや良い。	14
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



17 【校内研修】 課題を共有し、計画的に取り組みながら、教職員の専門性や指導力の向上を含めた課題解決が図られている。

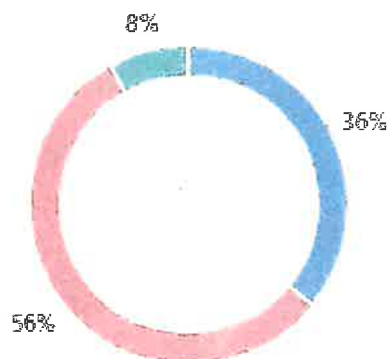
● 良い。	9
● やや良い。	16
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



18

【自立活動】 自立活動に関する専門的知識の共有や実践研究が行われている。

● 良い。	9
● やや良い。	14
● やや不十分。	2
● 不十分。	0

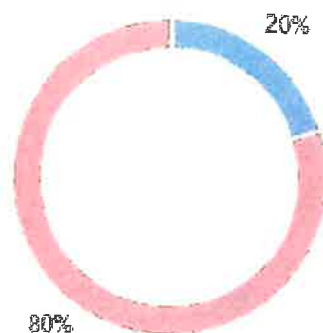


・自立専科から研修(実践事例)等の場が設けられればもっと知識を共有できるかなと思います。

19

【校務分掌】校務の推進にあたり、教職員が組織の機能を発揮し、PDCA サイクルに則り、効率的・効果的に業務が遂行されている。

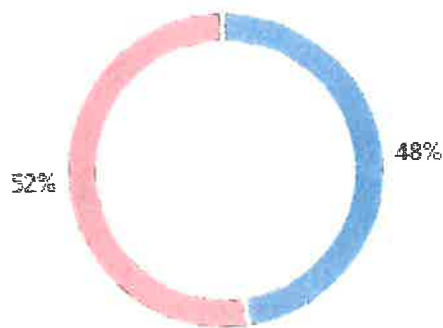
● 良い。	5
● やや良い。	20
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



20

【職員会議等】 職員会議や学部会等の諸会議を通じて、学校運営や学部運営を円滑にすすめることができる。

● 良い。	12
● やや良い。	13
● やや不十分。	0
● 不十分。	0

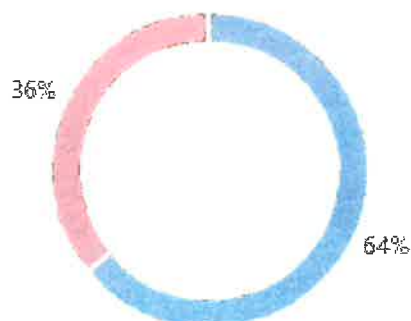


・資料は Teams に残っているので、紙に印刷して保管しなくて良いと思う。

21

【緊急・救急体制】 非常時及び緊急時に必要で適切な対応を準備し、危機を回避できる体制が構築されている。

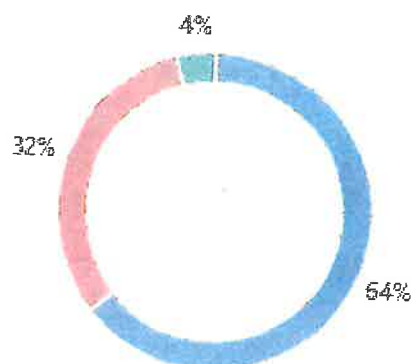
● 良い。	16
● やや良い。	9
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



22

【健康・安全・給食】児童生徒の健康・安全・給食指導等に関して、医療的ケアの体制を含め、校務分掌との連携を図りながら、適切な取り組みがなされている。

● 良い。	16
● やや良い。	8
● やや不十分。	1
● 不十分。	0

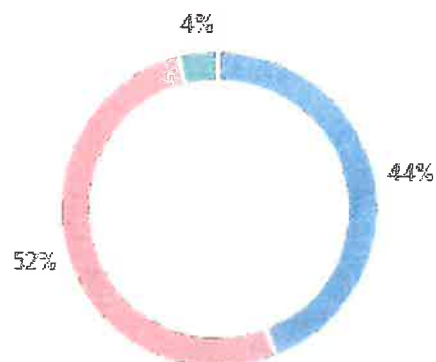


・センターで24時間管理している生徒の保護者へ校外学習、修学旅行などの同伴などを求めることには、無理があると思う。
特に高等部ともなると入所の年月が長く、保護者であっても医療的ケアの経験が乏しいのが現実なのでは？ケアの時間に影響のない行事計画をして実施してはどうか

23

【外部への情報発信】定期的にホームページを更新するなど学校の情報発信に努めている。

● 良い。	11
● やや良い。	13
● やや不十分。	1
● 不十分。	0

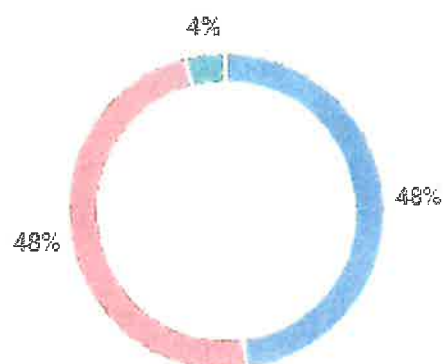


・もう少し外部に向けて発信できるように努力します。

24

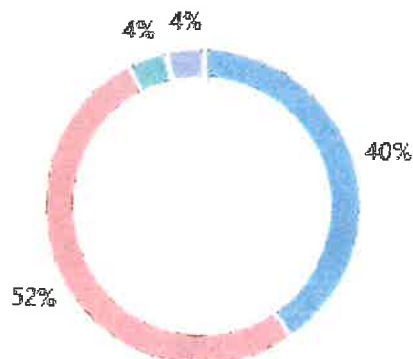
【教育環境】校内緑化や危険箇所の改善に努め、児童生徒にとって適切な教育環境が提供されている。

● 良い。	12
● やや良い。	12
● やや不十分。	1
● 不十分。	0



・水道水が飲めないけれど、水をくんできて口腔ケアをしている状況なので、口腔ケアは安心安全なセンターに任せてはどうか。
・物が多く管理に苦慮している。不必要なものは、譲渡・処分してほしい。使わなくなった備品、校舎周辺プランター、木の枝、ゴミ捨て場のゴミ・・・等
・教職員が少なく、校内緑化まで手がまわっていない。校内にある5段畑をどうにかしてほしい。

● 良い。	10
● やや良い。	13
● やや不十分。	1
● 不十分。	1



- ・生徒の重度化と減員に伴い、使用しない施設や備品などが多くあり、管理が難しいし、備品チェックに時間がかかる
⇒不要な備品の処分、譲渡などを早急におこなって生徒の実態や人数にあった適正の数の備品にしてほしい。
- ・学校施設内の花壇、畑？など教育活動で使用していない部分が多く校舎周辺にあり、すぐに草が覆い茂るため、除草作業を教員が繰り返し、繰り返し、繰り返し、、、行っている状況である。草刈り作業のためにある畑、花壇は撤去するか、除草は、外部に委託して除草や整地作業をしてほしい。
- ・小中プレイルームは、現在は、靴を脱ぎ、靴下で入室するようになっているが、内履きで利用した方が、車イス操作や遊具への移乗には安全だと思います。”
- ・廃棄処分したくても廃棄処分の予算がなくて困っている。使用できない物は廃棄できるようにしてほしい。

● 良い。	5
● やや良い。	12
● やや不十分。	7
● 不十分。	1



- ・児童生徒数が少なくなったことも含めて、PTA 活動への保護者の参加が消極的になっていると感じる。保護者・教職員ともに年々活動における負担が大きくなっている。
- ・センター入所生が多い本校の特徴でもあると思うが、PTA 活動自体が難しいのではないと思う。学校職員や一部の保護者だけに負担がいくの良くないと思うので、全体的な積極的な活動組織でないのであれば、PTA 会費等の必要最低限な活動(項目)だけを残し、実質の活動的な PTA 組織を解体するという決断も検討してはどうか。職員減のなか、様々な分掌であつたり行事等で精選をする中、PTA は必ずないといけないものなのでしょうか？
- ・PTA に関することの殆どを教職員主導でお膳立てしているような印象がある。保護者と教職員が対等な立場で運営するのが難しいなら、PTA のあり方について考える時期にきているのではないと思う。
- ・会員数の減少及び保護者の参加が限定される状況での PTA 活動及び PTA 運営そのものを抜本的なところから検討する時期になっているのではないか。
- ・保護者参加が難しくなっているかと思う。PTA のあり方を考えたい。
- ・センター入所の児童生徒がほとんどの中、保護者の参加が、ほぼない中での PTA 活動は、成立していると言えるのか疑問。教職員の PTA 係の負担になっていないか？今後、PTA 役員等の選出が可能なのか？教職員と役員だけの PTA 活動でも必要なのか？PTA 会費も含めて検討してほしいです。⇒PTA 活動の縮小 PTA 会費を徴収しない。

- ・在校生が減少していく中、PTA 活動にほとんどの保護者が参加できていない現状で、PTA の組織を運営していくのは難しいと思う。小中学校では PTA のない学校もあるので、そちらを参考にしながら PTA が必要かどうか検討して欲しい。PTA 会費については別の名目にして保護者から徴収して学校活動の維持に努めてはどうか？
- ・PTA 会員の人数が少なく、職員に負担感が生じていると感じる。

27 【職場環境】 同僚・管理者との良好な人間関係の構築ができている。

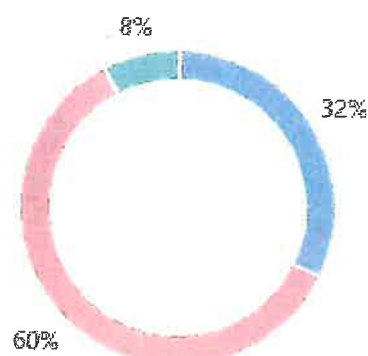
● 良い。	10
● やや良い。	12
● やや不十分。	2
● 不十分。	1



- ・いつも綱渡りだと思って毎日仕事しています。

28 【職場環境】 個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができている。

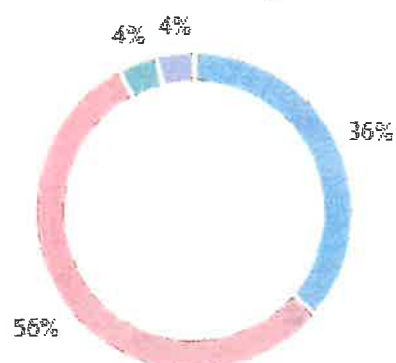
● 良い。	8
● やや良い。	15
● やや不十分。	2
● 不十分。	0



- ・一部の職員に仕事が偏っているのを強く感じる。

29 【職場環境】 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている。

● 良い。	9
● やや良い。	14
● やや不十分。	1
● 不十分。	1

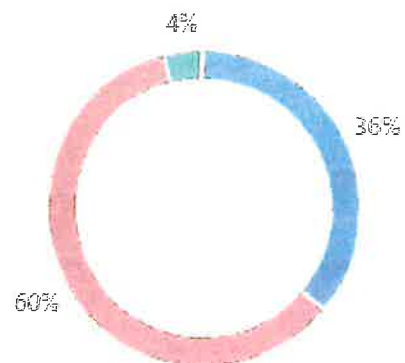


- ・何かよく分からないが、閉塞はいつも感じます。

30

【組織や運営に関すること】 職員間の連携について。

● 良い	9
● やや良い	15
● やや不十分	1
● 不十分	0



・一部の職員だけが頑張っているような感じがします

【結果と考察】

・評価対象は、教職員 25 名のうち回答は 25 名であり、全教職員が学校評価に回答し、回答率は 100%であった。また教職員の回答として、全 30 項目中、29 項目において、80%以上の良好な評価(「良い」、「やや良い」)結果となっている。また 90%以上の良好な評価(「良い」、「やや良い」)結果も 26 項目あった。全体的に各評価項目について職員からは、肯定的な回答が多い結果となった。今回「やや不十分」、「不十分」の改善の評価が見られた項目について、いくつか考察していきたい。

・項目2の「教育課程」については、2名の職員が「やや不十分」、1名の職員が「不十分」という評価の回答があった。

→回答:令和7年度の教育課程編成に向けて、教務部を中心に各学部や教育課程委員会等で検討中である。多様な意見を参考に引き続き検討していきます。

・項目12の「キャリア教育」については、4名の職員が「やや不十分」という評価の回答があった。

→回答:本校の児童生徒の実態を踏まえた「キャリア教育」をどのように取り組むのかも大切な視点です。今後は小学部段階から身につけておく良い力など、進路だより等を通して資料提供や情報を発信するなどして、系統性をしっかり考慮したキャリア教育の推進を図っていければと考える。

・項目25の「施設設備」については、1名の職員が「やや不十分」1名、1名の職員が「不十分」という評価の回答があった。

→回答:今後も児童生徒にとって安全で効果的な活動ができるように、施設設備の整備・管理に努めていければと考える。

・項目26の「PTA 活動」については、7名の職員が「やや不十分」、1名の職員が「不十分」という評価の回答があった。

→回答:今年度はPTA 評議員会の回数を減らすなど、係の職員に負担のないように柔軟に対応してきた。児童生徒・職員数減に伴い、PTA 活動も以前ほど活発ではないかもしれませんが、コロナが 5 類になり、PTA 作業や沖肢 p 協スポーツ大会への参加、職員と保護者が交流する機会も増えてきた。また参加した保護者もたいへん喜んでいて。今後も小規模校なりの負担感のない運営の仕方を管理者・職員・保護者が一緒になって検討していければと考える。

・項目27の「職場環境」については、2名の職員が「やや不十分」、1名の職員が「不十分」という評価の回答があった。

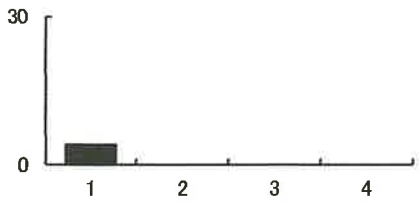
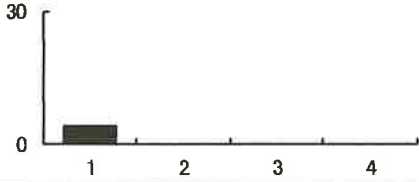
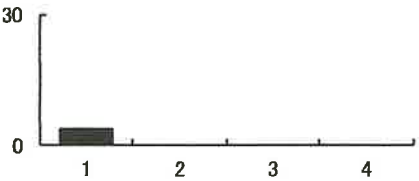
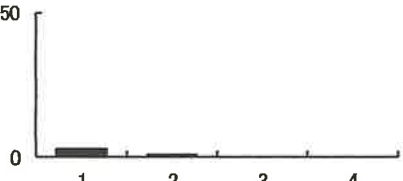
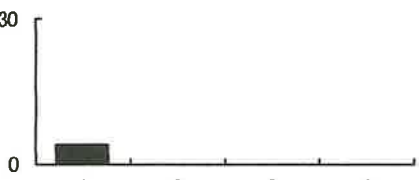
→回答:一部の職員に仕事が偏ることがないように、各学部間で業務・仕事内容の見直し、改善を図っていく。また困っている職員がいたら、声を掛け合い、サポートできるところは協力するなどして、お互いが気持ちのいい、働きやすい職場環境をつくっていければと考える。小規模校の強みを活かしながら、学校運営、児童生徒対応等、学部の垣根を越えて全職員で連携・協力しながら一緒に取り組んでいければと考える。

上記以外の項目についても、それぞれの課題解決に向け、学部や部署において、どのような取り組みが可能となるのか慎重に検討し、一つ一つ解決できるよう学校全体として取り組んでいきたいと考える。

事務職員 4名回答

評価点 1. 良い。 2. やや良い。 3. やや不十分。 4. 不十分。

No.	設問項目(評価点集計)	グラフ表示	全回答数	有効回答数	No.	1	2	3	4	無答
1	本校の学校運営に円滑に取り組んでいる。		4	4	1	4				
	1 2 3 4 平均									
	4 0 0 0 1.0									
	100% 0% 0% 0%									
2	他校種と連携・協力し、業務を遂行している。		4	4	2	4				
	1 2 3 4 平均									
	4 0 0 0 1.6									
	100% 0% 0% 0%									
3	家庭や関係機関(センター)、地域との連携は適切である。		4	4	3	2	2			
	1 2 3 4 平均									
	2 2 0 0 1.0									
	50% 50% 0% 0%									
4	働き方改革に取り組み、業務改善を推進している。		4	4	4	4				
	1 2 3 4 平均									
	4 0 0 0 1.0									
	100% 0% 0% 0%									
5	施設設備の修繕や改善に迅速に対応して、学習環境や職場環境を整備している。		4	4	5	4				
	1 2 3 無 平均									
	4 0 0 0 1.0									
	100% 0% 0% 0%									
6	業務処理は速やかで正確、計画的に実施できている。		4	4	6	4				
	1 2 3 4 平均									
	4 0 0 0 1.5									
	100% 0% 0% 0%									

7	事務現業部全体で協働体制がとれている。						4	4	7	4				
	1	2	3	4	平均									
	4	0	0	0	2.6									
	100%	0%	0%	0%										
8	事務分掌業務量は適切で、円滑に遂行できている。						4	4	8	4				
	1	2	3	4	平均									
	4	0	0	0	1.0									
	100%	0%	0%	0%										
9	感染症等対応に関して、安心安全な対策が行われている。						4	4	9	4				
	1	2	3	4	平均									
	4	0	0	0	1.0									
	100%	0%	0%	0%										
10	火災・地震避難訓練や不審者侵入対策等において、事務現業部での対策を十分行っている。						4	4	10	3	1			
	1	2	3	4	平均									
	3	1	0	0	1.0									
	75%	25%	0%	0%										
11	法令遵守の徹底に全力で取り組んでいる。						4	4	11	4				
	1	2	3	4	平均									
	4	0	0	0	2.0									
	100%	0%	0%	0%										

・職員の回答として、各項目に関して、ほとんどが「良い」「やや良い」の全体的に比較的高い評価となった。全て「良い」と回答した項目が 11 項目中9項目と高かった。また「やや不十分」「不十分」の回答はほとんどみられないことから、職員間で連携・協力しながら業務全般に取り組んでいるのではないかと考える。今後も、小規模校の強みを活かしながら、教職員、事務職員間で連携・協力しながら、より良い職場環境の維持・向上を図っていければと考える。

令和6年度 学校評価【保護者】

県立那覇特別支援学校

アンケート集約数 小学部保護者3名 中学部保護者6名 高等部7名 合計16名

評価点 1:評価できる 2:やや評価できる 3:やや不十分
4:不十分 無:無回答

No.	設問項目(評価点集計)	評価 (平均)	昨年度 評価	評価高○ 評価低△	グラフ表示	全回 回答数	有効回 答数	No.	小					中					高				
									1	2	3	4	無答	1	2	3	4	無答	1	2	3	4	無答
1	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。							1															
	1 2 3 4 無 平均	1.4	1.3	△↓		16	16		2	1				3	3				4	3			
	9 7 0 0 0 1.4 56% 44% 0% 0% 0%																						
2	学校は、一人一人の子どもに応じた指導の工夫がされている。							2															
	1 2 3 4 無 平均	1.3	1.3	→		16	16		3					4	2				5	2			
	12 4 0 0 0 1.3 75% 25% 0% 0% 0%																						
3	学校は、個別の教育支援計画の作成にあたり、保護者の要望や本人の願いが配慮されている。							3															
	1 2 3 4 無 平均	1.5	1.2	△↓		16	16		3					1	4	1			5	2			
	9 6 1 0 0 1.5 56% 38% 6% 0% 0%																						

No.1 毎月の各学部のお便りや校長通信、学校 HP 等でも定期的に、学校の教育内容の情報を発信しております。今後も是非、有効にご活用していただくようお願いいたします。

No.2 毎学期、授業参観週間を設定しています。授業参観や学校行事(那覇特祭)での児童生徒の頑張りの様子、先生方の指導の様子等を、ぜひ参観し激励等、よろしくお願いします。

No.3 今後も個別の教育支援計画作成に関して、担任と保護者間で話し合いを密に持ちながら作成していきたいと思ひます。作成に関して、何かわからないこと、相談したいこと等がありましたら、遠慮無く担任の先生にご連絡・ご相談ください。

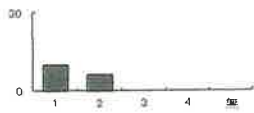
4	先生は子どもをよく理解して指導にあたっている。							4															
	1 2 3 4 無 平均	1.2	1.2	→		16	16		3					4	2				6	1			
	13 3 0 0 0 1.2 81% 19% 0% 0% 0%																						
5	学校は、センターと連携し教育活動を行っている。							5															
	1 2 3 4 無 平均	1.3	1.3	→		16	16		3					4	2				5	2			
	12 2 2 0 0 1.3 75% 12.5% 12.5% 0% 0%																						
6	子どもは、喜んで学校に行っている。							6															
	1 2 3 4 無 平均	1.3	1.2	△↓		16	16		3					4	2				4	3			
	11 5 0 0 0 1.3 69% 31% 0% 0% 0%																						
7	子どもは、学校(学部)行事を楽しみにし、参加している。							7															
	1 2 3 4 無 平均	1.2	1.2	→		16	16		3					4	2				6	1			
	13 3 0 0 0 1.2 81% 19% 0% 0% 0%																						

No.5 南部療育医療センターとの連携に関しては、定期的「センター学校連絡会」で本校の教育活動、学校行事等への協力をお願いしたり、情報を交換するなどして教育活動の充実を図っております。また本校コーディネーターを中心に必要に応じてセンターと随時連絡を取り、生徒の困り間の共有・連携を図っております。今後も、

No.7 小規模校の特性を活かしながら、今後も無理のない範囲で児童生徒が楽しく参加できるように、職員間で連携しながら学校行事等の充実に努めていきたいと思ひます。

No.12 コミュニケーションの代替として児童生徒の実態に応じて ICT 機器やスイッチ教材等を有効に活用しております。ぜひ、授業参観等で児童生徒の学習の様子、先生方の指導の様子等を参観していただければと思います。

No.13 PTA 係や役員が協力しながら、今年度は、PTA 関連の行事(5 月:PTA 総会、8 月:沖肢 P 連スポーツ大会、11 月:PTA 作業)等を保護者の皆さんと一緒にすることができました。今後も無理のない内容で職員と保護者の皆さんが交流できる場を多く持てるように内容や方法等を検討していきたいと思います。

14	通知表は、子どもの学習の様子がわかりやすいように工夫されている。						1.4	1.1	△↓		14	16	16	3		3	3		4	3
	1	2	3	4	無	平均														
	10	6	0	0	0	1.4														
	63%	38%	0%	0%	0%															

15	子どもの心身の健康や教育活動について、気軽に学校（先生、保健室等）に相談できる。						1.3	1.2	△↓		15	16	16	3		5	1		4	3
	1	2	3	4	無	平均														
	12	4	0	0	0	1.3														
	75%	25%	0%	0%	0%															

16	学校は、子どもの健康・安全や事故防止に配慮している。						1.3	1.2	△↓		16	16	3		4	1	1		6	1
	1	2	3	4	無	平均														
	13	2	0	1	0	1.3														
	81%	13%	0%	6%	0%															

No.15 保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力ありがとうございます。今後も何か学校の教育活動、児童生徒の体調や健康面の対応等で何か気になること、相談したいこと等がありましたら、担任、担当の先生方以外でも養護教諭、部主事、管理者も含めて、声かけやすい人に遠慮無く、ご連絡・ご相談ください。

【学校への要望、意見、提案等】

- ①いつも創意工夫をした授業、活動をしてくださりありがとうございます。
- ②残り少ない学校生活、先生やお友達と楽しく過ごして欲しいとおもいます。今後とも宜しくお願いします。
- ③医療センターに居るので日々の学校生活は把握できてませんが、安心しておまかせしております。
→**激励や励ましのコメント等**ありがとうございます。今後も**児童生徒にとってより良い学習環境や授業作り**を目指して、**職員間で連携しながら取り組んでいきたい**と思います。
- ④いつもありがとうございます！ 申し分けないですが「先生方の香料が強いな」と感じてます。2024年1月に沖縄県からも「香りが過度にならないようにご配慮をお願いします」とHPにあり、ポスターも作成されています。5省庁のポスターもあります。香りはダイレクトに脳に届きます。ぜんそくやアトピー、アレルギー鼻炎の要因にもなりえます。障がいのある生徒の発達や健康の為に先生方の洗剤、柔軟剤は無香料を検討お願いしたいです。先生方ご本人や先生方のご家族の健康を守ることに繋がります。香料について疑問点がありましたら何でもお答えしますのでお気軽にご質問下さい。
→**貴重なご意見等**ありがとうございました。香料について、今後学校の方でも資料等を参考に学習する機会等を持てればと考えています。

令和6年度 学校評価（学校評議員）

県立那覇特別支援学校

No	評価領域	感想・助言			
		1 十分	2 やや十分	3 やや不十分	4 不十分
1	本校の教育目標 ・ 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	3	1		
2	本校の教育実践 ・ 学校は、児童生徒の実態に応じた目標を設定し、授業実践に取り組んでいる。	2	2		
3	本校の健康・安全 ・ 学校は、健康・安全教育に適切に取り組んでいる。	4			
4	本校の教育環境 ・ 学校は、校内外の教育環境の整備に努めている。	1	3		
5	本校の進路指導 ・ 学校は、適切な進路指導に取り組んでいる。	2	2		
6	本校の校内研修 ・ 学校は、学校の課題解決に向け、研修に取り組んでいる。	3	1		
7	本校のPTAや地域との連携 ・ 学校は、PTA、隣接のセンター及び地域と連携し、円滑な学校運営に取り組んでいる。	2	1	1	
8	その他 （上記項目以外に感想・助言等がありましたらご記入ください）				
		・ 県外への修学旅行、那覇特祭という行事が実施できて良かったです。子供たちの笑顔をたくさん見ることができ、嬉しかったです。お疲れ様でした。 ・ 今後も、修学旅行の意義や必要な行事等が児童生徒がつけられる力（目標）を考え、必要な取り組みを考えてほしい。「楽しかった」だけでなく、こんな力がついた（みんなと協力する、やりたいことを意思表示できる等）と思える行事の在り方を考えてほしい。 ・ 那覇特支の生徒さんたちから本校訪問が年末にこない、とてもうれしく思いました。残念ながら、私は授業のための直線お会いすることはできませんでしたが、ぜひ、次の年度もいらしてください。心よりお待ちしております。 ・ 少人数での学校生活の強みを活かしてほしい。 ・ 桜の季節になりましたら、生徒さん達と「ゆいまーの通り」で交流できると良いですね。環境美化係の先生との話し合いも必要かと思えます。			
		・ 年3回の学校評議員会を通して、評議員の皆様からは、学校運営や授業実践等に関するたいへん貴重なご意見、ご助言、また教職員への激励等、ありがとうございます。評議員の皆様からいただいた貴重なご意見やご助言等を参考に次年度以降の本校の教育活動、教育実践等に活かしていきたいと考えております。 ・ PTA活動は、コロナも五類になり、7月に沖縄PTA連スポンサー大会への参加、12月にPTA作業等、保護者と職員間で交流する機会が増え、保護者の皆さんもとても喜んでいました。また地域との連携は、沖縄看護大学の敷地内やモスバーガー一軒屋、琉球寄宮支店等に本校児童生徒の作品を展示し、本校や本校の児童生徒を見学するなどの交流を深めることができました。今後も継続して交流・連携が持てればと考えております。次年度は、評議員の皆様から頂いた、意見や助言等を参考に、地域の自治会等と連携・交流できる方法を検討していきたいと考えております。貴重なご意見・ご助言ありがとうございます。			